

早稲田大学日本語教育学会

日本語教育研究科設立 15 年記念（2015 年秋季）大会プログラム

開催日時 2015 年 9 月 13 日（日）9:30～11:55 15:45～17:45

【会 場】 早稲田大学早稲田キャンパス 11 号館 7 階 703・704・709・710・711 教室（休憩室 705 教室）

【時 間】 受 付 9:00～（11 号館 7 階エスカレーターホール）
 開会式 9:30～9:35（11 号館 7 階 703 教室）
 口頭発表 9:40～11:55（11 号館 7 階 703・704 教室）
 ポスター発表 9:40～10:40（11 号館 7 階 710 教室）
 実践エキスポ発表 10:50～11:50（11 号館 7 階 709・711 教室）
 企画発表 15:45～17:25（井深大記念ホール（18 号館））
 総 会 17:30～17:45（井深大記念ホール（18 号館））

【口頭発表】 9:40～11:55

時間	第一会場：11 号館 7 階 703 教室
9:40～10:10	(1) 複言語の子どもへの親が行くことばの観察 —カナダと日本を行き来する子どもの親を中心に— 秋山幸（早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程）
10:15～10:45	(2) 「移動する女性」の「複言語育児」 —在アイルランドの在留邦人の母親のライフストーリーから— 稲垣みどり（早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程）
10:50～11:20	(3) 韓国における日本語作文教育の現状と課題 —韓国人日本語学習者による「要約作文」を中心に— 鄭潤静（早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程）
11:25～11:55	(4) 子どもが「今ありたい自分」として学びの場に参加するための日本語支援 唐木澤みどり（早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程）

時間	第二会場：11 号館 7 階 704 教室
9:40～10:10	(5) 対称詞にみられる話者の意識と言語形式との関係 —LINE を媒介とした非対面コミュニケーションを中心に— 任ジェヒ（早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程）
10:15～10:45	(6) 講義の「話段」の多重構造を識別する手がかりとしてのメタ言語表現 李婷（早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程）
10:50～11:20	(7) 短期留学プログラムにおける日本語授業の意義 —中国地方大学日本語学習者訪日研修における学習者の意識の変容から— 古屋憲章（早稲田大学日本語教育研究センター） 加藤駿（早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程） 山口友里恵（早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了生）

【ポスター発表】 9:40～10:40

時間	会場：11 号館 7 階 710 教室
9:40～10:40	(1) 多様な日本語話者が協働的に学ぶ日本語授業の意義 —母語話者受講生の役割意識の変化に着目して— 加藤駿（早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程）
	(2) 日本語学習者の自律的な発音学習 —「発音チェック」における「再提出」が日本語学習者の学びに与える影響— 戸田貴子（早稲田大学大学院日本語教育研究科） 大久保雅子（早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程修了生） 千仙永（早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程）

9:40～10:40	(3) 日本語教育副専攻科目で何ができるか —自己の言語使用を見つめなおす言語教育学の試み— トンプソン美恵子（早稲田大学日本語教育研究センター） 鈴木寿子（早稲田大学日本語教育研究センター）
	(4) 海外実践 SEND 派遣プログラムの報告 —長期・短期の「研修生」という立場から— 鳥居萌（早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程） 平松友紀（早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程） 三井一巳（早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程）
	(5) 大学での日本語スキル教育に交流と対話の視点を取り入れる —研究室で留学生が直面する問題に注目して— 岡田亜矢子（早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程）

【実践エキスポ発表】 10:50～11:50

時間	第一会場：11号館7階709教室
10:50～11:50	(1) 「自己」「研究」を協働で探求する研究計画作成の授業 —ポートフォリオを使用した情意的側面と技術的側面の支援— 鈴木寿子（早稲田大学日本語教育研究センター）
	(2) 日本語で発想と感性を磨く教室の一試案 —留学生テーマ科目「創作ライティングを学ぶ」の事例から— トンプソン美恵子（早稲田大学日本語教育研究センター）
	(3) 学習者による自由発表授業の試み 重信三和子（東京国際大学）
	(4) 「ビブリオバトル」に特化したクラスの試み 江後千香子（早稲田大学日本語教育研究センター）

時間	第二会場：11号館7階711教室
10:50～11:50	(5) 「サイレント・ウェイ式仮名導入表」の理念と活用法 川口義一（言語・生活研究所、早稲田大学名誉教授）
	(6) 地域を舞台にしたプロジェクト型授業の試み —協力者との関係構築の過程と留学生の学びの観点から— 山本真理（早稲田大学日本語教育研究センター）
	(7) 静岡県製造業 A 社における日本語対話型活動の取り組み —異なる立場の三者間連携による活動の活性化— 松本三知代（早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程）
	(8) 大学における自由参加の日本語活動 —「交流」とはどういうことか— 高井かおり（明星大学人文学部）

【企画 パネル】 15:45～17:25

時間	会場：井深大記念ホール（18号館）
15:45～17:25	大学学部留学生による講義理解の課題と方略 司会 佐久間まゆみ（早稲田大学大学院日本語教育研究科） 発題① 宮澤太聡（大阪観光大学国際交流学部） 発題② 青木優子（早稲田大学大学院日本語教育研究科） 発題③ 田中啓行（日本大学工学部） 発題④ 鈴木香子（早稲田大学日本語教育研究センター）